

バスケットボール ルールブック

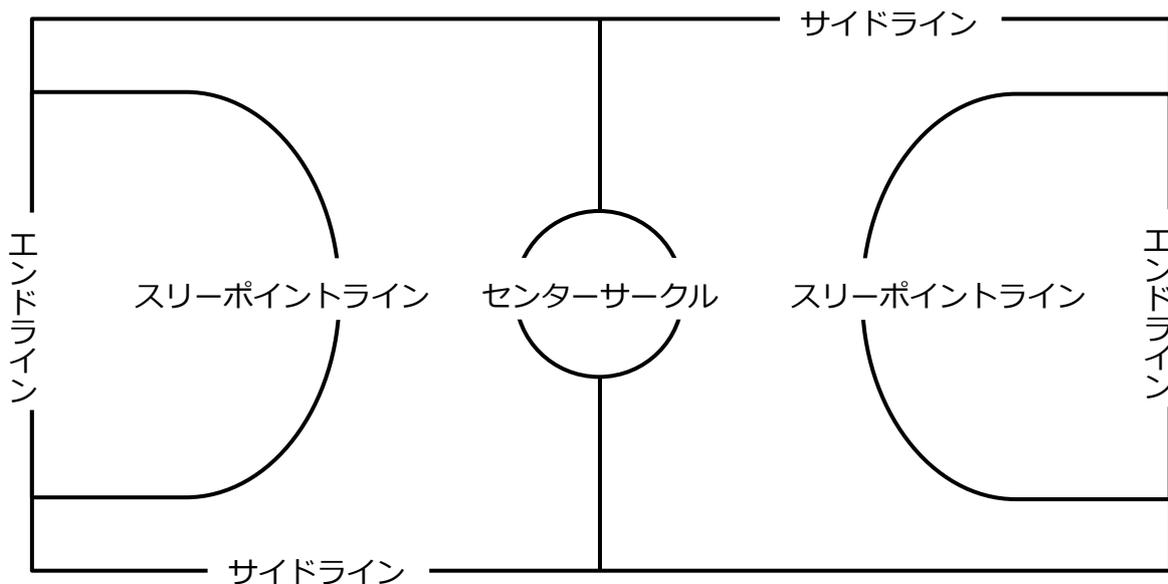
2019年 4月5日

文責：SEBONE

※自分たちの試合が行われる 1 試合前に審判をするので、1 試合前の開始 10 分前に必ず受付にいるようにしてください。審判をするのを忘れた場合 1 回目は注意、2 回目は失格となりますので注意してください。

また、審判はこのルールブックをもとにして試合を進行してください。

・ 試合開始後 10 分を過ぎても出場団体が現れなかった場合は失格とする。



●基本事項

- ・ 1 チーム 5 人制（登録できるメンバーは 1 チーム 5 人から 14 人）。
- ・ 1 試合 25 分（前後半 10 分、ハーフタイム 5 分）。
- ・ トーナメント方式。
- ・ ボールは男子が 7 号、女子が 6 号球とする。
- ・ ハーフタイム時にコートチェンジを行う。
- ・ ジャンプボールにより試合開始。 ※ 1
- ・ 選手交代はハーフタイム時・ファウル時・得点時・ラインアウト時などプレー中ではな

いときに審判の許可を得て初めて交代することを認める。

- ・得点はスリーポイントラインの外側からのフィールドゴールは3点、それよりも内側からの場合は2点とする。
- ・試合の妨害となる出来事が起こった場合は、審判の判断でその得点を無効とする。

※1 ジャンプボールのやり方

- ①審判がボールをセンターサークル内で上に投げる。
- ②ジャンパーは落ちてくるボールを片手か両手でタップする。

<注意事項>

- ・ジャンパー以外は、タップされるまでサークルを底面とする円筒内には入れない。
- ・ジャンパーはタップしたあと、他のプレーヤーがボールにふれる、もしくは床にボールが落ちるまでボールに触れてはいけない。
- ・やり方通りにできなかった場合、再度ジャンプボールをする。

●主なルール

以下の場合には相手チームのスローインからスタートする。※2

- ・ボールをこぶしでたたいた、蹴ったとき。
- ・ボールを保持していたプレーヤーや自チームが最後に触れていたボールが、サイド・エンドラインを含む外の床や物に触れたとき。(アウトオブバウンズ)
- ・ボールを持って境界線(エンドライン、サイドライン)を踏んだとき。(ラインクロス)
- ・ボールを持ったまま3歩以上歩いたとき。(トラベリング)
- ・ドリブルを止め、一度ボールをつかみ、続けてドリブルしたとき。(ダブルドリブル)
- ・手や体で相手を押したとき。(プッシング)
- ・相手をつかんだり、押さえたりしたとき。(ホールディング)
- ・手で触れ続けて防御したとき。(ハンドチェック)
- ・手で相手をたたいたとき。(イリーガルユースオブハンズ)
- ・相手の進行を体で不当に妨げたとき。(ブロッキング)
- ・ボールのコントロールにかかわらず、無理に進行して突き当たったとき。(チャージング)

※秒数・バックパスに関するルールは採用しない。

※ボールの奪い合いになったときは、始めにボールを持っていたチームのスローインから始める。

※ファウルのときは、フリースローをとらず全てスローインで行うこととする。

※2 スローインのやり方

①スローインはファウルがあった場所から近いほうのサイドラインから行う。

②スローインはコート内のどこにいるプレーヤーにしてもよい。

③スローしたボールが誰にも触れずコートの外に出た場合は、相手チームがボールの出た場所からスローインを始める。

④スローインはラインを踏んではいけない。

●禁止事項

以下の行動をした場合は失格となる場合があるので注意して下さい。

- ・相手チームや審判に暴言や暴力をした場合。
- ・審判の指示に従わない場合。
- ・故意に相手にケガをさせた場合。

●勝敗の決め方

同点の場合はフリースローのサドンデスを行う。決勝・3位決定戦で同点の場合は5分ハーフ（ハーフタイム3分）の延長戦を行い、それでも決まらない場合はそれまでと同じ方式をとる。

●上記にないルール

両チームの合意があれば、その場限りの特別ルールを認める。ただし、登録していない選手の出場、及び試合時間に関する特別ルールは認めない。また、それらを行ったことによる影響について、大学祭実行委員会は一切責任を負わない。